



中央公民館

- ・ひとりじめ (浅田 美代子)
- ・闇祓 (辻村 深月)
- ・らんたん (柚木 麻子)
- ・むき出し (兼近 大樹)
- ・ペーパーズ・ゴースト (伊坂 幸太郎)
- ・砂に埋もれる犬 (桐野 夏生)
- ・さよならも言えないうちに (川口 俊和)
- ・新しい星 (彩瀬 まる)
- ・フエイクフィクション (菅田 哲也)
- ・残照の頂続・山女日記 (湊 かなえ)
- ・視えない線を歩く (石戸 諭)
- ・李王家の縁談 (林 真理子)
- ・鎌倉殿を立てた北条家の叡智 (加来 耕三)
- ・夜叉の都 (伊東 潤)
- ・剛心 (木内 昇)
- ・児童書 「ひよこはにげます」
- ・「ブルーノ」
- ・「ぼくモグラキツネ馬」
- ・「はじめての日本のれきし えほん」

衣奈会館

- ・ミスチと天狗とおぼろ月の夢 (川辺 純可)
- ・仲野教授の笑う門には病なし (仲野 徹)
- ・酒に溺れた人魚姫 (酒村 ゆつげ)
- ・欧来天狗異聞 (浜本 龍蔵)
- ・14歳からの哲学 (池田 晶子)
- ・月曜日の抹茶カフェ (青山 美智子)
- ・嗤う淑女 (中山 七里)
- ・辻政信の真実 (前田 啓介)
- ・N (道尾 秀介)
- ・ティラノ部長 (鈴木 おさむ)
- ・蛭と月の真ん中で (河邊 徹)
- ・アナキズムを読む (田中 ひかる)
- ・ビタートラップ (月村 了衛)
- ・怖ガラセ屋サン (澤村 伊智)
- ・レインメーカー (真山 仁)
- ・すごいトシヨリ散歩 (池内 紀・川本 三郎)
- ・児童書 「ふしぎなカバかばん」
- ・「ふたりのももたろう」

白崎会館

- ・透明な螺旋 (東野 圭吾)
- ・天路 (リービ英雄)
- ・アフター・サイレンス (本多 孝好)
- ・サーカスから来た執達吏 (夕木 春央)
- ・居酒屋「一服亭」の四季 (東川 篤哉)
- ・月夜の羊 (吉永 南央)
- ・御坊日々 (畠中 恵)
- ・月夜の森の鼻 (小池 真理子)
- ・おはよう おかえり (近藤 史恵)
- ・児童書 「呪術廻戦 17巻」
- ・「ワンピース 100巻」
- ・「あさだ おはよう」
- ・「こんにち、わー!」
- ・「おばけのうんどうかい」
- ・「うさぎちゃんスキーへいく」
- ・「びよちゃんのありがとう」

※ここに記載の他、多数の新刊図書が入っています。

由良町公民館だより 2022 冬号 令和4年 1月 1日

- ・中央公民館 (日高郡由良町網代248-12 ☎65-2418)
- ・衣奈会館 (日高郡由良町衣奈765-7 ☎66-0921)
- ・白崎会館 (日高郡由良町吹井910-2 ☎65-3510)

年頭によせて

新年明けましておめでとうございます。皆様方には健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び上げます。

日頃より、学校教育、社会教育をはじめ本町の教育の振興と発展に、深いご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年、和歌山県誕生150年、「山青し 海青し 文化は輝く」をキャッチフレーズに、和歌山県の山や海など美しく豊かな自然のもと、文化がますます光り輝くことを願い、紀の国わかやま文化祭2021が開催されました。本町においても文化協会を中心にサークル活動等の作品やあかつき園、みのり園の方々の作品が中央公民館に展示されました。

奇しくも文化祭最終日に、中高生読書まつりビブリオバトル由良町大会が開催されました。ビブリオバトルという言葉はビブリオとバトルの二つの言葉を合わせたもので言うなれば、書評合戦。5分間でおすすめの本を紹介し、参加者全員で「どの本が一番読みたくなかったか」を投票で決めます。6名の中学生が、個性と持ち味を發揮し、素晴らしい発表をされました。由良町自慢の大会として広げていきたいと考えています。

現代は、多様性が尊重される社会へと進んでいます。東京オリンピック2020は、人種、性別、宗教、障がいの有無など、世界中の人々が「多様性と調和」の重要性を改めて認識し、共生社会を育む契機となりました。相手を差別したり傷つけたりするつもりはなくても、自分自身が気づいていない無意識の偏見が、結果的に相手の心に悪い影響を与えてしまうことがあります。心の器をより大きく、より深く、より豊かにするためには、他者であるいろいろな人の心を体験することは欠かせません。読書はこうした体験ができる世界です。公民館での様々な学びが、私たちの日々の生活に潤いをもたらしてくれることを期待します。

さて、今年「寅年(とらどし)」で、十二支の3番目の年です。寅という漢字は、弓矢を両手で引き絞る形を表した象形文字で、引っ張るや伸ばすといった意味で使われ、草木が伸び始める状態を表しているようです。二年近くになるコロナとの戦いですが、ワクチン開発など人間の知恵比と、感染対策をはじめ新しい日常の我慢比べは続きます。幾多の試練を乗り越えてきた人間の歴史に未来はあります。虎の威光は、我々の内にあり。

皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げ、新年のご挨拶といたします。

教育長 寒川 正美



〔1月～3月の行事予定〕

〔中央公民館〕

*由良町成人式

1月9日(日)

*日高地方技術家庭科作品展覧会

1月15日(土)
16日(日)

*図工・美術作品展覧会

1月29日(土)



公民館では、サークル活動をはじめ、各種教室などを開催しています。皆様のご参加をお待ちしています。詳しいことは、中央公民館及び白崎会館・衣奈会館へお問い合わせ下さい。

紀の国わかやま文化祭2021

第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会



第56回 由良町文化展

第36回国民文化祭及び第21回全国障害者芸術文化祭が10月30日から11月21日まで、県内各地で開催されました。由良町では、第56回文化展を10月30日から11月7日まで開催しました。今年度は、文化協会会員のほか、あかつき園、みのり園園生による作品も数多く出展し、来館者の方々は興味深く鑑賞されました。文化の秋に相応しい展覧会となりました。



【短歌】

わが庭にしばし飛びあししじみ蝶もつれ合ひつつ塀を越えゆく
新蕎麦の香のたちみつる厨房へ皆つぎつぎと十割を請ふ
目覚むれば山並染まる朝焼けに今日一日の元気をもらふ
櫓田に白鷺の子は首かしげ「キョロキョロ」辺りを見わたしてをり
明けやらぬ阿戸の山辺に啼く鹿の声に目覚むる今日もさはやか
冬野菜移植後の雨降らぬまま根付くまで来し欠かせぬ散水
避難港より戻る船舶順列を組みつつ帰る明日の漁如何に
青空にうろこ雲わく昼最中ペタンク大会競ひにぎはふ

二本松 せつ子
山下 清美
白樺 美智子
坂田 ひろ美
大西 克恵
濱田 順子
寺井 由美
塩路 弘子

【俳句】

枯葉舞ふ京の都は人の波 伊藤 秀一
郁子を食ふ習はしのなく卒寿過ぐ 上本 郁子
棕鳥や秘仏に薄日ゆらゆらす 片山 綾子
人ひとり減りたる家に冬立ちぬ 北岡 ゆみ
始筆あれば終筆ありと秋深し 小谷 かおり
そこここに枯葉侍らす武士の墓 小山 ひとみ
水澄みて別れし人を近くせり 坂田 妹子
枯葉だよ100パーセント寒くなる 関本 展大
秋の朝ポンポン船の走る音 高橋 義巳
立冬の仁王の足の指の爪 竹中 桃代
住み馴れて鴉も身内秋の暮 田淵 佳根
立冬や日射し玻璃戸を磨きくる 西川 初枝
木の実降る家の庭先矮鶏放つ 広瀬 峰雄
神の旅水煙放つ御神像 藤田 薫
ささやかな山の畑も花野とす 山下 治子
石路の黄に夕暮被ふ早さかな 吉村 美恵子

【川柳】

一日を無事に過ごせる日の平和 井口 きよみ
ゴロゴロと一人留守番平和です 門田 明美
一心に心の平和築き上げ 貴志 治郎
いつの世も平和でいたい私達 高橋 義巳
白い飯お腹一杯気兼ねなく 田代 豊子
戦争のない平和な日願う日々 中崎 枝美子
大切な言葉と平和五七五 中崎 文香
平穏が平和の証青い空 中口 小夜美
平和くる家族の顔に笑うかが 西川 美代子
恨みある心のうちは平和来ず 平石 敏弘
平和ですにつこり笑う三面鏡 五嶋 恭子

ゆらふるさと伝承館について

旧白崎中学校の2階に設置されている「ゆらふるさと伝承館」には、民具・農具・漁具・埋蔵文化財・貝類の展示・興国寺と虚無僧に関する資料や由良町内の写真など様々なものが展示されています。この展示品の一点一点をじっくり見ていくと、当時使用していた日用品や道具類など感慨深いものがあり、時間の経つことを忘れてしまいます。

とりわけ「ふるさと写真展示室」には、大正から平成までの由良町の風景や人々の暮らしなど120枚程の写真が展示されています。由良町の変遷がよくわかり、その当時の様子が記憶の中に甦ってくると思います。展示以外にも140冊のアルバム写真などが保管されていますので、是非一度来館してみてはいかがでしょう。来館される際は、教育委員会に事前予約する必要があります。

なお、開館可能日は毎週月曜日から金曜日までとなっています。詳しいことは、由良町教育委員会(☎65-11800)にお問い合わせください。

